

当PDF文書は上に示されている企業に関する詳細レポートのアップデート版として作成されたものです。
 詳細レポート全体につきましては[弊社ウェブサイト](#)をご覧ください。

2020年1月28日、株式会社アズームは、2020年9月期第1四半期決算を発表した。

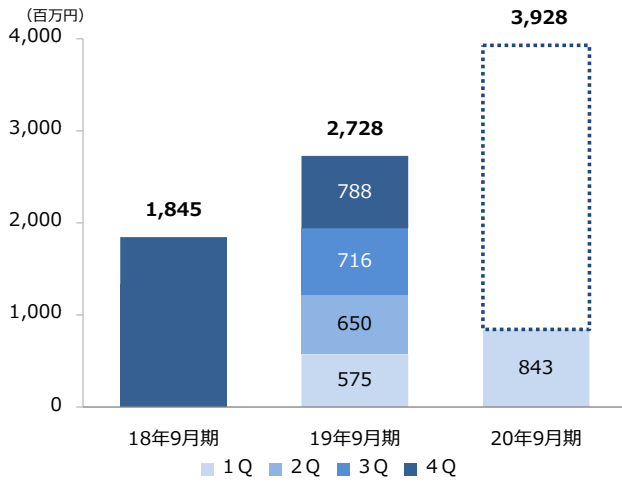
四半期業績推移 (累計) (百万円)	18年9月期				19年9月期				20年9月期	20年9月期			
	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q	1Q	進捗率	上期会予	進捗率	通期会予
売上高	-	-	1,327	1,845	575	1,224	1,941	2,728	843	46.9%	1,796	21.5%	3,928
前年同期比	-	-	-	51.2%	-	-	46.2%	47.9%	46.7%		46.7%		44.0%
売上総利益	-	-	611	828	240	533	849	1,169	326			27.8%	1,173
前年同期比	-	-	-	49.1%	-	-	38.9%	41.2%	35.4%				0.4%
売上総利益率	-	-	46.1%	44.9%	41.8%	43.6%	43.8%	42.8%	38.6%				29.9%
販管費	-	-	480	663	224	494	775	1,075	325				
前年同期比	-	-	-	26.5%	-	-	61.5%	62.2%	44.8%				
売上高販管費比率	-	-	36.2%	35.9%	39.0%	40.4%	39.9%	39.4%	38.5%				
営業利益	-	-	132	165	16	39	74	94	1	4.4%	23	0.5%	190
前年同期比	-	-	-	430.2%	-	-	-43.6%	-43.2%	-93.8%		-40.9%		102.4%
営業利益率	-	-	9.9%	9.0%	2.8%	3.2%	3.8%	3.4%	0.1%		1.3%		4.8%
経常利益	-	-	130	150	16	39	75	95	1	3.2%	23	0.4%	189
前年同期比	-	-	-	400.5%	-	-	-42.4%	-36.8%	-95.4%		-40.8%		99.3%
経常利益率	-	-	9.8%	8.1%	2.8%	3.2%	3.8%	3.5%	0.1%		1.3%		4.8%
四半期純利益	-	-	84	110	11	20	45	56	-2	-21.1%	11	-2.0%	117
前年同期比	-	-	-	197.6%	-	-	-45.6%	-48.8%	-		-44.3%		108.0%
四半期純利益率	-	-	6.3%	6.0%	1.8%	1.6%	2.3%	2.1%	-		0.6%		3.0%
四半期業績推移 (3ヵ月) (百万円)	18年9月期				19年9月期				20年9月期				
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q				
売上高	-	-	1,327	518	575	650	716	788	843				
前年同期比	-	-	-	-57.5%	-	-	-46.0%	52.0%	46.7%				
売上総利益	-	-	611	217	240	293	316	320	326				
前年同期比	-	-	-	-61.0%	-	-	-48.3%	47.5%	35.4%				
売上総利益率	-	-	46.1%	41.8%	41.8%	45.1%	44.1%	40.6%	38.6%				
販管費	-	-	480	183	224	270	281	300	325				
前年同期比	-	-	-	-65.1%	-	-	-41.5%	64.0%	44.8%				
売上高販管費比率	-	-	36.2%	35.3%	39.0%	41.6%	39.2%	38.1%	38.5%				
営業利益	-	-	132	34	16	23	35	20	1				
前年同期比	-	-	-	8.3%	-	-	-73.2%	-41.7%	-93.8%				
営業利益率	-	-	9.9%	6.5%	2.8%	3.5%	4.9%	2.5%	0.1%				
経常利益	-	-	130	21	16	23	36	20	1				
前年同期比	-	-	-	-31.6%	-	-	-72.4%	-1.6%	-95.4%				
経常利益率	-	-	9.8%	4.0%	2.8%	3.5%	5.0%	2.6%	0.1%				
四半期純利益	-	-	84	26	11	9	26	11	-2				
前年同期比	-	-	-	-28.7%	-	-	-69.2%	-59.1%	-				
四半期純利益率	-	-	6.3%	5.1%	1.8%	1.4%	3.6%	1.4%	-				

出所：会社データよりSR社作成

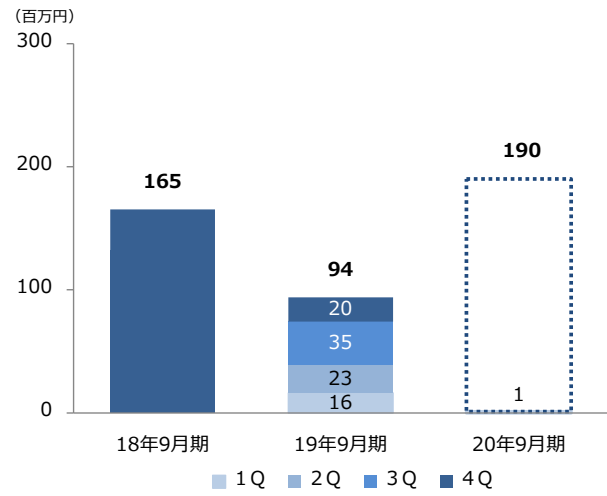
*表の数値が会社資料とは異なる場合があるが、四捨五入により生じた相違であることに留意。

**2020年9月期から連結決算開始。前年同期比は非連結実績との比較。

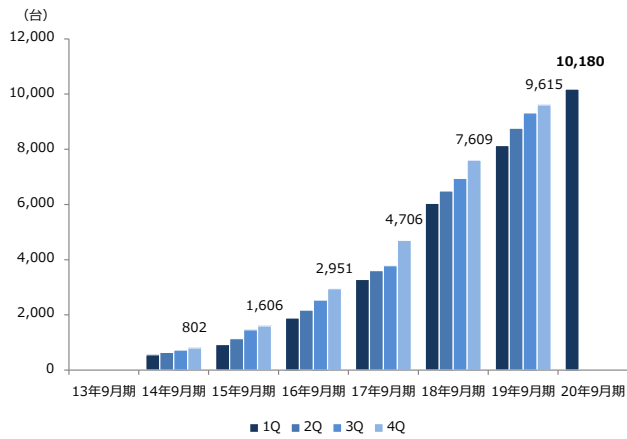
四半期売上高の推移



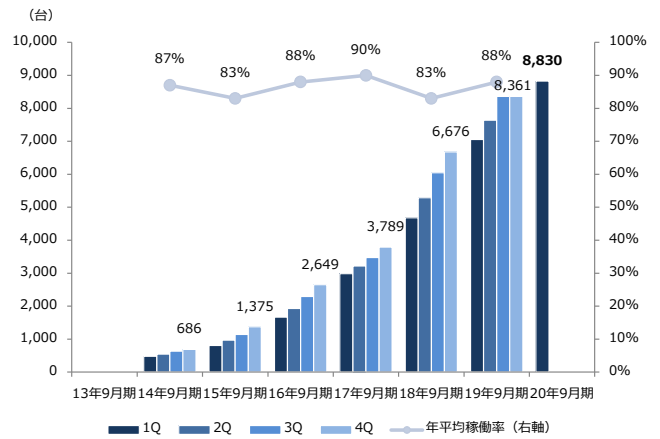
四半期営業利益の推移



サブリース受託台数の推移



サブリース稼働台数の推移



出所：会社データよりSR社作成

*表示数値は年度末実績、稼働率は年平均を用いて算出している。

2020年9月期第1四半期実績

業績概要

- ▷ 2020年9月期第1四半期（2019年10月～12月）売上高：843百万円（前年同期比46.7%増、個別決算の前年同期との比較、以下同様）
- ▷ 営業利益：1百万円（同93.8%減）
- ▷ 経常利益：1百万円（同95.4%減）
- ▷ 四半期純損失：2百万円（前年同期実績11百万円の利益）
- ▷ 連結決算：当第1四半期より、個別から連結決算を開始。連結対象となるのは、株式会社CGWorks（2019年3月より事業開始）、AZOOM VIETNAM INC.（2019年3月より事業開始）の2社。
- ▷ 通期見通し：新たに連結業績見通しを発表、売上高3,928百万円（同44.0%増）、営業利益190百万円（同102.4%増）、経常利益189百万円（同99.3%増）、親会社株主に帰属する当期純利益117百万円（同108.0%増）
- ▷ セグメント開示：従来サービス別に開示されていた月極駐車場紹介サービス、月極駐車場サブリースサービスを含む遊休不動産活用事業と、新規に不動産の活用方法や完成イメージのデータ制作販売を行うビジュアライゼーション事業の2事業セグメントでの開示となる。

- ▷ 業界動向と背景：遊休不動産活用事業に関しては、同社が主力とする駐車場業界では、物件紹介依頼や、空き駐車場の収益化に対する需要は継続。この背景は、都市部での大型商業ビルやマンションの建築により駐車場全体の供給量が増加する一方で、個人消費の志向や高齢化などに伴う乗用車の所有形態の多様化や地域間の供給格差などによる月極駐車場の需要と供給のミスマッチが生じているため。また、ビジュアライゼーション事業では、宿泊施設や商業施設のリノベーションへの機運の高まりから、3DCG技術を活用した不動産の完成予想画像に対する需要が高まっている。

セグメント別状況

遊休不動産活用事業

- ▷ 当セグメントは、従来個別決算で開示されていた、月極駐車場紹介サービスと月極駐車場サブリースサービスが主体
- ▷ セグメント売上高は827百万円、同利益は3百万円

月極駐車場紹介サービス

- ▷ 2020年9月第1四半期（2019年10月～12月）の同サービス別売上高：83百万円（前年同期比48.2%増）
- ▷ 駐車場問い合わせ件数：34,820件（前年同期比4.8%増）となり増加傾向が続いた。

月極駐車場サブリースサービス

- ▷ 2020年9月期第1四半期（2019年10月～12月）の同サービス別売上高：713百万円（同41.2%増）
- ▷ 既存社員の営業力強化が奏功
- ▷ サブリースの状況（2019年12月末時点）：受託台数10,180台（2019年9月末比565台増）、稼働台数8,830台（同469台増）

ビジュアライゼーション事業

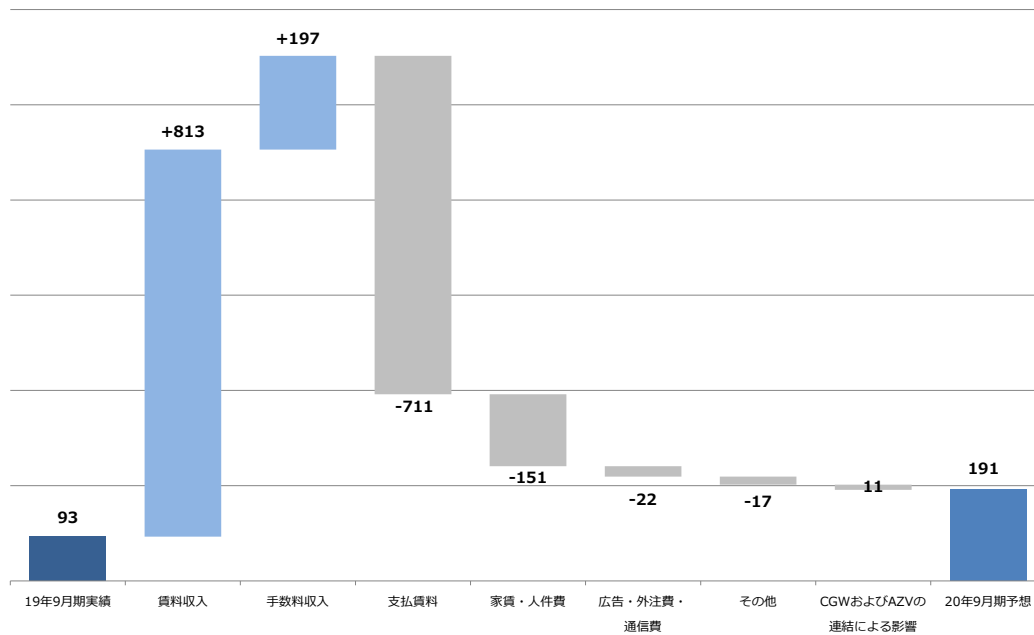
- ▷ 当セグメントは新規連結された2社が中心となって運営される事業
- ▷ セグメント売上高は15百万円、同損失は2百万円
- ▷ 当期においては、新規人員の積極的な採用を行うとともに、多様な営業提案を可能とすべく事業基盤の拡大を急ぐなど、費用が先行して発生し、営業損失となった。

2020年9月期通期見通し

- ▷ 2020年9月期通期については、期初に売上高3,819百万円（前年比40.0%増）、営業利益202百万円（同115.2%増）、経常利益204百万円（同115.2%増）、当期純利益137百万円（同143.5%増）としていたが、第1四半期より連結決算に移行するにあたり、連結ベースでの業績見通しを発表した。
- ▷ これによると、2020年9月期連結業績見通しは、売上高3,928百万円（前年（個別決算）同期比44.0%増）、営業利益190百万円（同102.4%増）、経常利益189百万円（同99.3%増）、当期純利益117百万円（同108.0%増）。期初に公表された個別業績見通しより今回の連結業績予想の利益計画が下回っている（営業利益段階で12百万円の減少）のは、新規事業であるビジュアライゼーション事業での先行費用があるため、とSR社ではみている。
- ▷ 同社がターゲットとするオフィスビル・商業施設駐車場の空き状況は一定の水準が継続すると想定している。一方、住宅市場においては、分譲マンションの居住者の高齢化や修繕積立金の不足問題が更に深刻化すると考えられる。このため、空き駐車場の外部貸し等の効果的なマンション運営手法の導入等の付加価値のあるサービスに需要が継続して見込まれる。このように、オフィスビル・商業施設・マンションに設置された駐車場に対する収益化需要とサービス・安全性向上への需要は今後も高い水準を維持していく、と同社ではみている。
- ▷ 同社は、増加する月極駐車場問い合わせニーズに対応するため、営業人員の大幅な拡充に加え、新規営業人員に対する社内教育体制の整備を進めるなど、月極駐車場のリーシング力を高めている。下図にあるように、引き続き手数料収入の増加を計画している。
- ▷ 月極駐車場サブリースサービスでは、2020年9月期においても、引き続き首都圏におけるサブリースに加え、地方都市への支社展開を積極的に行うことで、首都圏以外の都市圏における月極駐車場サブリース案件の拡大を図り、サブリース賃料収入の更なる増加を見込む。下図をみても、賃料収入と支払賃料が両建てで前年実績より拡大する計画となっている。
- ▷ また、従前の駐車場サービスに加え、WEBシステムを利用した遊休スペースの有効活用も推進し、「世の中の遊休不動産を活躍する不動産に」という経営理念のもと更なる事業拡大を進めており、2019年8月に株式会社ライナフより貸し会議室運営支援システムの事業を譲受し、無人会議室運用システムを提供する「スマート会議室」事業を開始する。当システムでは、空室・予約管理から売上管理までワンストップで対応できるのが特徴である。

2020年9月期連結業績予想（営業利益増減要因）

（単位：百万円）



出所：会社資料よりSR社作成

*表の数値が会社資料とは異なる場合があるが、四捨五入により生じた相違であることに留意。

このリサーチメモは、掲載企業の[最新版レポート](#)にも掲載されています。

株式会社シェアードリサーチは今までにない画期的な形で日本企業の基本データや分析レポートのプラットフォーム提供を目指しています。さらに、徹底した分析のもとに顧客企業のレポートを掲載し随時更新しています。

ディスクレーム

本レポートは、情報提供のみを目的としております。投資に関する意見や判断を提供するものでも、投資の勧誘や推奨を意図したものではありません。SR Inc.は、本レポートに記載されたデータの信憑性や解釈については、明示された場合と黙示の場合の両方につき、一切の保証を行わないものとします。SR Inc.は本レポートの使用により発生した損害について一切の責任を負いません。

本レポートの著作権、ならびに本レポートとその他Shared Researchレポートの派生品の作成および利用についての権利は、SR Inc.に帰属します。本レポートは、個人目的の使用においては複製および修正が許されていますが、配布・転送その他の利用は本レポートの著作権侵害に該当し、固く禁じられています。

SR Inc.の役員および従業員は、SR Inc.の調査レポートで対象としている企業の発行する有価証券に関して何らかの取引を行っており、または将来行う可能性があります。そのため、SR Inc.の役員および従業員は、該当企業に対し、本レポートの客観性に影響を与える利害を有する可能性があることにご留意ください。

金融商品取引法に基づく表示

本レポートの対象となる企業への投資または同企業が発行する有価証券への投資についての判断につながる意見が本レポートに含まれている場合、その意見は、同企業からSR Inc.への対価の支払と引き換えに盛り込まれたものであるか、同企業とSR Inc.の間に存在する当該対価の受け取りについての約束に基づいたものです。

連絡先

株式会社シェアードリサーチ / Shared Research Inc.

東京都文京区千駄木3-31-12

HP: <https://sharedresearch.jp>

TEL : (03)5834-8787

Email: info@sharedresearch.jp